



企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
李志超

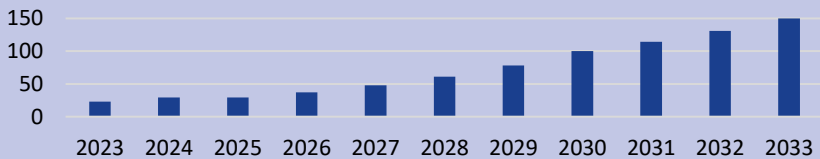
デジタル循環社会を支える次世代流通インフラの創造

L I N X A S株式会社は、雑貨の販売、お酒の買取販売、スマートフォンの買取販売など、多様な商材の流通と再流通を通じて、利便性向上と資源循環の両立に貢献する企業です。商品からデジタル機器までを循環させ、持続可能な社会に寄与しています。今後は、スマート物流基盤の構築とAI活用で在庫・出荷・需要を最適化し、流通の効率と品質を一層高めます。商流拡張で国内外へ提供価値を広げ、共通の流通基盤の高度化により持続的成長を確実に実現していきます。成長の成果を社員へ還元し、働きがいある組織づくりを進めつつ、社会に必要とされ続ける企業として信頼と競争力を高め、売上100億円への飛躍を実現してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2030年に売上高100億円達成に向け、スマート物流基盤とAI活用による生産性向上を軸に、各事業で年率約28%程度の成長を目指す。



課題

- ・スマート物流倉庫の整備と自動化、WMS/OMSを含む在庫一元管理の確立による出荷能力・品質の引き上げ
- ・AIを活用した需要予測・価格最適化・発注/在庫配分の高度化による粗利改善と販管費率の低減
- ・商社M&Aの実行とPMI（物流・システム・商流の統合）を確実に進め、販路と供給力を短期で拡張する体制整備

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・スマート物流倉庫の整備と自動化設備、WMS/OMSによる在庫一元管理を導入し、出荷能力・品質を引き上げるとともに物流原価と販管費率を構造的に低減する
- ・AIを活用した需要予測、価格最適化、発注・在庫配分の高度化により、在庫回転率と粗利率を改善し、意思決定の高速化と業務標準化を進める
- ・商社M&Aにより法人顧客基盤・仕入ネットワーク・海外販路を短期間で獲得し、PMI（物流・システム・商流の統合）によってクロスセルと供給力強化を実現する

実施体制

- ・経営直轄の横断推進体制を構築し、物流、DX/AI、M&A/PMIの機能別責任者を設置してガバナンスを強化し、KPIに基づく進捗管理を月次で実施する。
- ・物流は段階導入（主要商材→全商材）で立上げリスクを抑え、倉庫設計・設備導入の経験者（採用または外部専門家）を配置して稼働を早期安定化させる
- ・M&Aは外部アドバイザー（FA・DD）を活用しつつ、クロージング前にPMI計画を策定し、統合後のシナジー（売上・粗利・回転率改善）をKPIとして管理する



弊社の主力4事業

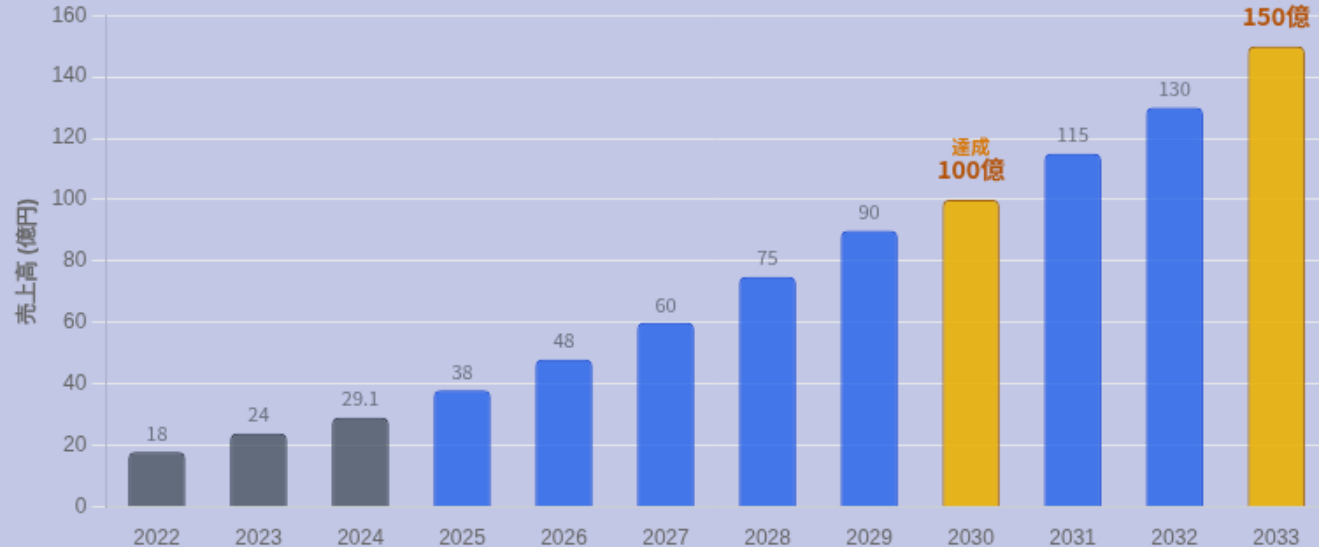
- 本社所在地：神奈川県横浜市中区
- 事業概要：卸売・小売業
- 常時使用する従業員：52名
(2026年2月時点)
- 現在の売上高：36億円
(2026年2月期)
- 法人番号：8020001125860
- Web：https://linxas.company/

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の計画と分析

2030年に売上高100億円、2033年に150億円を、物流能力の拡張・AIによる粗利改善・M&Aによる商流拡張の三本柱で実現します。

売上高推移計画（2022-2033）



100億円の内訳（成長要因）

- 上積み** (Icon: Handshake)

M&A / 国内外法人チャネル拡大
商流・顧客基盤の一举獲得
- 成長の底上げ** (Icon: Robot)

物流 / DX / AIによる生産性・粗利改善
処理能力向上と利益率改善
- 基盤** (Icon: Plant)

既存事業のオーガニック成長
市場拡大に合わせた堅実な成長

投資と効果（KPI）の因果関係

投資の三本柱	具体的な施作内容	管理KPI（成果指標）
スマート物流倉庫	自動検品・梱包ライン導入、WMS/OMS統合連携	出荷能力、誤出荷率、物流費率
全社AI基盤	需要予測・価格最適化・自動発注エンジンの実装	在庫回転率、粗利率、販管費率
M&A / PMI	国内商社の物流・システム・商流の統合	法人売上高、海外売上比率、粗利額

実行可能性 24ヶ月で倉庫稼働・WMS/OMS統合・AI実装・PMI完了まで段階導入を実行し、上記KPIを月次で厳格に管理する体制を構築済み